

「目の愛護デー・メガネの日」関連などの支部活動

3月中旬までにいただいたご報告です



東京都支部(片山敬三支部長)は、10月1日の「第4回めがね供養会」(写真左)と、プロバスケットチーム「アースフレンズ東京Z」の開幕試合(写真右)に協賛、リーフレットの配布、チアリーダーがメガネを着用したパフォーマンスなどで啓発活動を行いました。

神奈川県支部(小野明夫支部長)は、メガネの日の啓蒙と認定眼鏡士のPRイベント「10月1日はメガネの日」を9月28日、横浜駅東口・新都市ホールで実施、約2,000名が訪れました。



熊本県支部(山角邦雄支部長)は、10月1日、熊本県眼鏡商組合との共催で、「メガネ供養祭」を執り行いました。



北海道支部(中山勝弘支部長)は、10月2日、老人クラブ寿会で講習会「加齢と目の病気」開催、78名が参加しました。



福井県支部(赤松賢治支部長)は、10月22日(公財)福井県アイバンクの主催する「目の愛護デー記念事業」に協賛しました。



高知県支部(楠瀬剛志支部長)は、10月9日、高知眼鏡商組合主催の「メガネのチェック&チェック」に協力しました。



奈良県支部(森本勝支部長)は、昨年6月に奈良新聞に広告を2回掲載。7月25日には森本支部長をはじめ3名が同社を表敬訪問し、甘利治夫代表取締役と歓談しました。



大阪府支部(平井了支部長)は、(一社)大阪府眼科医会主催の「目のすべて展」に協賛。10月9、10日の両日で約500名が来場しました。



宮崎県支部(山口清一支部長)は、10月10日NPO法人スローライフ宮崎主催の「めがね供養祭」に参加し、古メガネ1,600本を供養しました。

徳島県支部(竹田保世支部長)は、10月1日、葛城神社で「メガネ供養」を開催したほか、9月25日には徳島市のふれあい健康館で開催された徳島県眼科医会の「目の健康講座」に賛助会員として参加、メガネ相談などを行いました。





兵庫県支部（北出彌一郎支部長）は、10月1日付の神戸新聞に広告を出しました。



和歌山県支部（山田稔支部長）は、10月10日付の朝日新聞和歌山版に広告、和歌山放送のラジオでスポット広告9回、また10月9日の番組「小林睦郎のラジオカフェ」に山田支部長が出演、認定眼鏡士を啓蒙しました。



鳥取県支部（持田典子支部長）は、12月2日付の日本海新聞に広告を出しました。



長野県支部（林四郎支部長）は、2月17日付の信濃毎日新聞に広告を出しました。



埼玉県支部（栗原宏治支部長）は、昨年4月1日付の読売新聞に広告を出しました。



佐賀県支部（清水信弘支部長）は、10月10日付の佐賀新聞に広告を出しました。



鹿児島県支部（岡野和典支部長）は、標語啓発ポスターを製作、鹿児島県支部会員に配布しました。

栃木県支部（坂本恒五郎支部長）は、10月2日、宇都宮市保健センターで行われた栃木県眼科医会の「目の健康講座」に協賛しました。

京都府支部（鈴木利夫支部長）は、10月2日、京都府眼科医会の主催する「忘れていませんか 目の健康」に協力しました。